

# マスクの箱に生徒の絵

中日新聞

コロナ禍  
の中で

不織布マスクなどを製造する輪之内町の繊維会社、東洋産業と大垣市の印刷会社「ダイキユー」が、マスクの外箱を飾る絵を中学生から募集する「マスクプロジェクト」を企画し、代表生徒の絵があらわれた五百箱が完成した。二十一日に町役場で贈呈式があった。（柳田瑞季）

## 大垣の印刷会社「ダイキユー」と企画



マスクの箱のイラストを描いた美術部の4人＝輪之内町役場で

東洋産業の安田洋一社長が、出る喜びを味わっていただいた母校の輪之内中学校美術部に絵の製作を依頼。「コロナ禍で発表の機会がなくなってきた子どもたちに、自分の描いた絵が世に」の案が届いた。

木野隆之町長らの投票により、二年の岩田真治さん（四）と早野美生さん（四）、一年の久保田美歩姫さん（三）と棚橋洵友さん（三）の絵が選ばれた。四人の絵は、五十枚入りマスクの箱の四面にそれぞれ印刷された。棚橋さんは、ボクシングのグローブを着けた町のキャラクター「かわばたくん」と疫病退散の妖怪「アマビエ」がともに戦うポーズをした絵を描いた。「新型コロナウイルスに打ち勝とう」という思いを込めた。感染予防のため、これからもマスクを活用したい」と話した。絵が採用された四人に、四十箱ずつが贈られた。

町には百五十箱が寄贈された。木野町長は「熱意が絵に表れている。町のコロナ対策として、有効に使わせてもらいたい」と感謝した。ホッとステーション「わのち」などで近く販売する。両社のホームページでも販売を予定している。税込

## 繊維会社・東洋産業 輪之内中から募集

# マスク箱町キャラ推し

輪之内中学校の美術部で活動する1、2年生が描いた絵が、地元企業が販売する箱入りマスクのパッケージのデザインに採用された。箱の四つの面に、輪之内町のキャラクター「かわばたくん」の絵などがそれぞれ印刷されている。（柴田洋希）

## 輪之内中美術部がデザイン



自分たちが描いたパッケージのデザインを示す生徒たち＝輪之内町役場

新型コロナウイルスの感染に思う「私たちの未来」に沿って、手洗いやソーシャルディスタンスの確保といった感染防止対策の要素も盛り込み、水彩や色鉛筆を使って3週間ほどで仕上げた。マスクは数量限定で同社のホームページ上で販売するほか、完成を記念して町や町内の小中学校にも贈られた。木野町長は「輪之内町をアピールできる素晴らしいデザイン。明るい希望をもたらすマスクになれば」と話した。

## 東洋産業などと協力

同校OBで、マスクを製造する東洋産業 同町大蔵の安田洋一社長が「コロナ禍で活動が制限される中で、夢や希望を持つきっかけに

山梨新聞